

令和6年度 石和南小学校の学校教育方針

1 学校教育目標

「心豊かで、たくましい子どもの育成」

～学校が、子どもにとって「学びたい学校」、
保護者にとっては「学ばせたい学校」、
地域にとっては「なくてはならない学校」、
教職員にとっては「働き甲斐のある学校」であるために～

ア) めざす児童像

- ・命を大切にし、健康で思いやりのある子ども
- ・仲間とともに、進んで学び、活気のある子ども
- ・きまりを守り、最後までやりぬく子ども
- ・協力し、実行する子ども

イ) めざす学校像

- ・安心できて、明るく楽しい学校
- ・心が落ち着く、温かな学校
- ・体を鍛え、学力を高める学校

ウ) めざす教師像

学校における最優先事項は、子どもの命と安全を確保することである。

その考えに立ち

- ・子どものために苦労をいとわず、誠実に取り組む教師
- ・子どもが分かる授業を創造するため、自らの指導力の向上をめざす教師
- ・学びの基盤である家庭（保護者）・地域と連携し、子どもの幸せを導く教師

2 学校経営目標

めざす子ども像

「あいさつと笑顔があふれる心温かな学校（学級）で、学びに集中する子ども」

子どもチャレンジ目標

- ・誰に対しても、心の通う丁寧なあいさつができるようになろう。
- ・「ありがとう」と言える人、「ありがとう」と言ってもらえる人になろう。
- ・話し手の説明が、理解できる聴き方ができるようになろう。
(聞き手に分かりやすく説明できるようになろう。)
- ・相手を思いやる丁寧な言葉遣いができるようになろう。
- ・「みなみルール」を身に付け、集中して学べるようになろう。
- ・「下駄箱の靴の整頓」「無言清掃」ができるようになろう。
- ・「みなみルール」を守って生活できるようになろう。

教師チャレンジ目標

【子どもたちの長所を褒めて認める。短所を改善させるよりも長所を伸ばす。】

- ・本校の子どものために、「労をいとわず、誠心誠意、笑顔で」接していこう。
- ・本校の子どものために、「チームみなみ」で取り組んでいこう。
- ・本校の子どものために、「連携プレー」で取り組んでいこう。

☆みなみルール

1 【 学習への心がまえ 】

- ① 授業をきちんとはじめよう！（開始時刻までに学習の準備をして、静かに座って待ちましょう）
- ② 正しい姿勢をしよう！（足はぺったん、背中ピン、お腹と背中にグー1つ）
- ③ 【はい】の返事をしっかりしよう！
- ④ 学習に必要な用具をととのえよう！

* 低学年（1年・2年・3年）

・ 筆箱の中身は、鉛筆5本、消しゴム1個、ミニ定規、赤青鉛筆

* 高学年（4年・5年・6年）

・ 筆箱の中身は、鉛筆5本、消しゴム1個、ミニ定規、赤鉛筆と青鉛筆（赤ペンと青ペン）を1本ずつ、マーカー1本

- ⑤ 「共書き」に取り組もう！

2 【 聞く・話す 】

- ① 静かに、しっかり話を聞こう！
- ② ていねいな言葉遣いをしよう！（先生との会話は、「です」「ます」をつけましょう）
- ③ 友だちを優しく呼ぼう！（〇〇さん、□□君をつけて呼びましょう）

3 【 校内での過ごし方 】

- ① 服装を整えよう！（踵を踏まないで履きましょう。防寒着は室内では脱ぎましょう。）
- ② 静かに移動・集合しよう！

3 学校経営推進の具体的な実践

（1）「確かな学力」の育成と学びを深める教育

◇学校全校で取り組む学習規律の確立

- ・ 「みなみルール」の定着
- ・ 「やまなしスタンダード」「考えを深める学習過程」を意識した授業展開

◇子ども実態に即した校内研究の推進

- ・ 課題の明確化（知的好奇心を喚起するような課題、多様な考えを引き出す課題）
- ・ 個の意見の可視化（板書、ホワイトボード、ICTの活用等）
- ・ 考えを深める意図的な問い（なぜそう考えたのか、よりよくするにはどうするのか等）
- ・ 学級力向上プロジェクトを取り入れた学級づくり
- ・ とともに考え支え合う学級、学年、全校集団をめざした活動
- ・ つながりをもつ環境づくり（家庭や保育所等とつながる実践）

◇言語活動の充実

- ・ 言語活動の充実を図り、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善

◇教師の授業力や学級経営力を生かした教育実践

- ・ 学力学習状況調査結果を活用した授業実践
- ・ 一人一実践による授業提供

◇少人数指導やティームティーチング指導

- ・ 少人数指導やTTによる授業実践（非常勤講師・市担講師等の活用）

◇朝学習・学びの放課後教室・市学力向上委員会の取組等の実施（基礎学力向上への取組）

- ・ 算数、国語の基礎的内容の定着

◇読書活動の推進

- ・ 「朝の読書タイム」の充実
- ・ 保護者や教師による読み聞かせ

◇福祉教育の推進

- ・児童会活動（書き損じ葉書，タオル，お米等の収集）やクラブ活動（高齢者とのゲートボール等）による実践
- ・4年生の福祉教育（福祉講話，福祉体験等）
- ・6年生の一日民生委員活動
- ◇環境教育の推進
 - ・3年生の環境学習（ゴミ問題，地球温暖化，エコ・アクション・リサイクル活動等）
- ◇外国語教育の充実
 - ・「聞くこと」「読むこと」「話すこと[やり取り]」「話すこと[発表]」「書くこと」の4技能5領域の言語活動を実施し，コミュニケーション能力を育成する。
 - ・学級担任とALT，外国語アシスタントとの英語活動や国際理解教育の実践
- ◇伝統や文化等に関する教育の推進
 - ・ふるさとに誇りをもち，地域や世界で活躍できる人材の育成
 - ・「ふるさと山梨」の活用や地域との連携等による郷土学習の推進
- ◇情報教育の推進
 - ・情報モラルと情報活用能力の向上
 - ・ICTの有効活用を進めながら「主体的・対話的で深い学び」の実現を図る。
 - ・各教科等の学習内容と関連付けながら，適切なプログラミング教育の実施
- ◇キャリア教育の推進
 - ・全体計画及び年間指導計画に基づくキャリア教育の実践的な計画
 - ・自己実現に向け，特に「職業観」「勤労観」「自己理解」「生き方」についての指導
- ◇家庭と連携した家庭学習の充実
 - ・「家庭学習の手引き」，「チェックカード」，「学びの甲斐善八か条」の活用
 - ・「ノーメディアタイム・チャレンジへ」の取組
- ◇スタートカリキュラムの推進
 - ・幼児期の生活から小学校生活への円滑な接続を目指すため，接続を意識したスタートカリキュラムの実施

(2) しなやかな心と丈夫な体をつくる教育

- ◇学級づくり案（学級経営案）に基づく認め合う学級づくり
 - ・一人一人が認め合える学級づくり（子ども理解，学級力向上プロジェクト，学級づくり案）
 - ・RPDCAのサイクルによる学級集団づくり
- ◇道徳教育の一層の充実
 - ・道徳の時間の確保と授業の工夫改善
（授業のふり返り[指導と評価の一体化]，子どもの活動の評価）
 - ・道徳教育全体計画をふまえた心に響く道徳教育の推進
 - ・全教育活動（日常生活，校外学習，登下校等）で推進する道徳教育
- ◇心に寄り添う生徒指導
 - ・生徒指導年間計画と月別重点目標の設定
 - ・校内生徒指導委員会による指導体制づくり
 - ・児童理解と情報交換（教師間の共有化，児童の良いところ，頑張ったことを中心に）
 - ・関係機関との連携（特別支援学校，ふえふき教育相談室，子育て支援課，児童相談所等）
- ◇学校不適応，不登校，いじめ，ヤングケアラーへの対応
 - ・スクールカウンセラー，スクールソーシャルワーカー及び笛吹市ことばと発達のサポートルーム等の講師による教育相談，研修会の実施（SC，SSW活用事業，特別支援学校との連携）
 - ・児童観察，教師へのアドバイス・研修，児童・教師・保護者に対する相談
 - ・いじめの早期発見と組織的な取組（いじめ実態調査の実施，インターネット上のいじめを防ぐための情報モラル教育の推進）
 - ・不登校児童の保護者との連携

- ・ふえふき教育相談室との連携（ふえふき教育相談室の学校訪問等）
- ・ストレス等への対処方法を身に付けるため、SOSの出し方に関する教育の実施
- ◇体力づくり
 - ・体力向上の一校一実践への取組（全校遊び運動の実践）
- ◇健康教育の推進
 - ・がん教育の推進
 - ・保健教育や食育の推進
 - ・児童の生活実態調査の実施
 - ・「早寝・早起き・朝ご飯」の啓発活動
- ◇「あいさつ・聞き方・言葉遣い」の推進
 - ・笛吹市の取組でもある「あいさつ・聞き方・言葉遣い」への学級・学年・児童会での取組

（３）特別支援教育の推進

- ◇専門性の向上
 - ・特別支援教育に関する理解の促進と専門性の向上のために、本校児童の実態に応じた研修の実施
- ◇教育内容の充実
 - ・多様性を認め合える集団づくりのための交流及び共同学習等，障害(者)理解教育の実施
 - ・個別の教育支援計画を作成し，支援内容の検討及び評価の実施
 - ・特別支援校内委員会を適切に実施

（４）豊かな成長を支える教育環境の充実

- ◇開かれた学校づくり
 - ・授業参観や学校開放日の実施
 - ・学校評議員会の開催及び学校関係者評価委員会の開催
 - ・学校評価の実施と学校教育活動の改善
 - ・保護者と連携したPTA活動の充実
 - ・児童民生委員の学校訪問と懇談会の開催
- ◇幼保・小学校・中学校・笛吹高校との連携
 - ・地域課題研究会議（ブロック研）による中学校，町内小学校との交流授業参観
 - ・幼稚園，保育園等との情報交換や保育参観，園児との交流活動
 - ・御陣屋太鼓クラブの指導（農林高校 望月先生，笛吹高校すいれき太鼓部）
- ◇人事評価制度の取組
 - ・学校の活性化と教職員の資質向上
- ◇安全，安心な学校づくり
 - ・交通安全教室の開催（１年・入学時，４年生・金川の森での実施）
 - ・集団登下校の指導（登校班指導等）
 - ・避難訓練（火災，地震，水難等）の実施（年間５回程）
 - ・児童引き渡し訓練と通学路点検の実施
 - ・施設設備の安全点検（毎月１回）
 - ・スクールガードリーダーや児童見守りボランティア等との連携
 - ・笛吹警察署との連携（学警連）
 - ・防犯訓練の実施（不審者対応，他）
 - ・携帯，スマートフォン，ゲーム等の活用方法についての学習会実施（高学年）